

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1497
施設名	なかまち保育園
施設所在地	小平市仲町7番19
法人名	社会福祉法人ゆたか会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・感触

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
新園として環境が限られている中で、新しく環境として構成されていくものに自ら飛び込み、発見と体験につながるように構成した。

## 2. 活動スケジュール

5月に園庭全体の砂の入れ替えと異なる砂質の砂場を造作し、その後に随時自然物や造作物を設置し、子どもたちが自ら遊びこめるような環境を作っていた。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

砂場の設置

園庭との砂質の差

砂場おもちゃ

一本橋・ミニウッドステップ

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

砂場遊び

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・始めのうちは触ることも出来なかった0歳児クラスの子どもたち、最近では砂を握ったり、つまんだり、落としたりして感触を楽しんだりしています。1・2歳児クラスになると保育者が型を作ると次々と壊して楽しんだり、大きなお山を作るとその上を踏んずけて楽しんだりする姿が見られます。型でケーキを作るとお花や葉っぱをのせて、ケーキに見立てて遊ぶようになりおまご遊びもはじまります。砂を容器に詰め並べてドングリを入れたり、型抜きも上手に出来るようになってきます。こうしたことから、手先が器用になり、創造力、集中力、忍耐力が高まりバランス感覚が養えるようになってきます。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

職員も加わり、子どもたちの発見や感動に共感することで次への意欲が大きく育てることができている。友だちにしていることに興味関心が広がり模倣から、人とのかかわりの広がりを育てていきたい。